

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
心理アセスメント法Ⅱ			必修（心） 選択（社.精）	2	2.3	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
鈴木 真吾		B309	shsuzuki		木曜日 12:15～13:00	
授業の目的・概要		<目的> 心理アセスメント法の高度な専門知識と技術を習得して、結果の解釈を報告書にまとめる記述技法を獲得する。 <概要> 心理アセスメント法の中でも、本授業では投映法および質問紙法による人格検査を体験する。体験した検査は全て「自己分析」してレポートにまとめる。全ての回を登校による対面式授業で行う。				
学 習 上 の 助 言		レポートの合格には誤字脱字も一切認めないので、課題を最後までやり切る熱意を求める。				
教 科 書		必要に応じてプリントを配布する。				
参 考 書		「心理査定実践ハンドブック」氏原・岡堂・亀口・西村・馬場・松島（編）創元社				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学に基づくデータ分析、解釈ができる。				心（2）	
②	心理学の知識を生かして、性格（人格）の特徴を記述することができる。				心（2）	
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	エゴグラムを体験・解釈する。		講義・演習	検査結果を復習して整理する。	2	
2	自己分析レポートの記述手法を学ぶ。		講義・演習	レポートを作成する。	4	
3	YG 性格検査を体験して、結果をまとめる。		講義・演習	検査結果を復習して整理する。	2	
4	YG 性格検査を解釈する。		講義・演習	レポートを作成する。	4	
5	バウムテストを体験して、結果をまとめる。		講義・演習	検査結果を復習して整理する。	2	
6	バウムテストを解釈する。		講義・演習	レポートを作成する。	4	
7	SCT を体験して、結果をまとめる。		講義・演習	検査結果を復習して整理する。	2	
8	SCT を解釈する。		講義・演習	レポートを作成する。	4	
9	描画投映法を体験して、結果をまとめる。		講義・演習	検査結果を復習して整理する。	2	
10	描画投映法を解釈する。		講義・演習	レポートを作成する。	4	
11	PF-Study を体験する。		演習	検査結果を復習して整理する。	2	
12	PF-Study の各指標を整理する（1）。		講義・演習	指標の算出結果を整える。	2	
13	PF-Study の各指標を整理する（2）。		講義・演習	指標の算出結果を整える。	2	
14	PF-Study を解釈する（1）。		講義・演習	検査結果を復習して統合する。	4	
15	PF-Study を解釈する（2）。		講義・演習	総合レポートを作成する。	6	
試						

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	30	0	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	体験した全ての心理検査について個別のレポートを課す。心理学の知識を正しく活かして自己を分析した後、性格（人格）に関して検査報告書の形式に沿った文章として仕上げる。フォントや文字下げ等の形式的マナーから、誤字脱字や的確な日本語表現等に至るまで仔細にチェックされる。ミスがまったくないレポートになるまで再提出を求められる。定期試験は受検した全てのレポートをまとめて自己分析を行う総合レポートを課す。				提出された全てのレポートについて修正すべき点を指摘した上で、自己分析へのコメントを付して授業内にて返却する。またレポートを作成時の質疑応答は Teams でも受け付ける。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
出席は検査体験ごとにカウントする。2回以上連続で授業を行う検査では1回の欠席でも複数回の欠席と見なす。こうした評価方法が本授業独自の基準であるため、初回に必ず参加して説明を受け、納得して受講登録をすること。 なお、体験演習の性質上、福祉心理学科学生のみ受講登録を認める。他学部・他学科の学生は例外なく受講できない。 授業及び予復習の時間を除く14時間は、各課題レポートの再提出に向け、レポートの修正・見直しのために、自学自習の時間を確保すること。 教員の実務経験： 本科目の担当講師は、臨床心理士及び公認心理師資格を有し、16年の心理相談業務の経験があり、その専門性と経験を講義に生かし学生に教授する。 ※Teamsの各クラスで諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。また、全15回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。							